

平成29年度

飯田市当初予算（案）の概要

長野県飯田市

目 次

| | | |
|--|---|-------|
| はじめに | … | 1 |
| 1 平成29年度飯田市当初予算の総額 | … | 1 |
| 平成29年度飯田市各会計予算の総額 | … | 2～3 |
| 2 一般会計歳入歳出予算の概要 | … | 4 |
| (1) 歳入予算の特徴 | … | 4 |
| (2) 歳出予算の特徴 | … | 4 |
| 平成29年度一般会計 予算額 | … | 5 |
| 平成29年度一般会計 歳入(主な内容と増減内訳) | … | 6～7 |
| 平成29年度一般会計 目的別歳出(主な内容と増減内訳) | … | 8～9 |
| 平成29年度一般会計 性質別歳出(主な増減内訳) | … | 10～11 |
| 3 市政経営の6つの基本方針における平成29年度予算の特徴(平成28年度補正予算計上分含む) | … | 12～13 |
| 4 飯田未来デザイン2028戦略計画 | … | 14 |
| 基本目標1 若者が帰ってこられる産業をつくる | … | 14～15 |
| 基本目標2 飯田市への人の流れをつくる | … | 16～17 |
| 基本目標3 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む | … | 18～19 |
| 基本目標4 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす | … | 20～22 |
| 基本目標5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる | … | 22～23 |
| 基本目標6 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす | … | 24～26 |
| 基本目標7 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる | … | 26～27 |
| 基本目標8 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる | … | 28～29 |
| 基本目標9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する | … | 29～31 |
| 基本目標10 豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる | … | 31～33 |
| 基本目標11 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める | … | 34～35 |
| 基本目標12 リニア時代を支える都市基盤を整備する | … | 36～37 |
| 5 平成29年度当初予算編成における改革改善の取組 | … | 38 |
| (1) 当初予算に予算化した主な改革改善の取組 | … | 38 |
| (2) 創意工夫による1%提案の主な取組 | … | 38 |
| (3) 進行管理と成果の公表 | … | 38 |
| (4) その他(参考) | | |
| ① 市役所新庁舎建設による光熱水費の節減 | … | 38 |
| ② 稲葉クリーンセンター稼働に伴う負担金の縮減 | … | 38 |
| 6 地方債残高の推移 | … | 39 |
| 7 基金残高の推移 | … | 40 |

はじめに

「くらし豊かなまち」の実現に向け 飯田の未来づくりチャレンジ元年

「いいだ未来デザイン 2028」未来ビジョン：
みんなで実現したい「くらしの姿」「まちの姿」

【市政経営の6つの基本方針】

- 1 経済自立度を向上させ、若い人が帰って来られる産業づくり
- 2 地育力により飯田に帰って来たいと考える人づくり
- 3 誰もが住み続けたいと思う地域づくり
- 4 地域ぐるみで環境に配慮した低炭素なまちづくり
- 5 リニア・三遠南信道の開通・全通を見据えた飯田ブランドの確立
- 6 リニア時代を見据えた社会資本整備を進め、国際学術研究機能を有する「小さな世界都市・飯田」の実現

- 私らしいくらしのスタイルを楽しむまち
- 人と人がつながり、安全安心に暮らせるまち
- 健やかにいきいきと暮らせるまち
- 学びあいにより生きる力と文化を育むまち
- 地域の応援で子育ての幸せが実感できるまち
- 人と自然が共生する環境のまち
- 持続力で力強く自立するまち
- 地域の誇りと愛着で 20 地区の個性が輝くまち

12の基本目標における戦略計画の展開

分野別計画の推進

飯田市制 80 周年の節目を迎える平成 29 年度は、「いいだ未来デザイン 2028」（飯田市総合計画）に基づき、「市政経営の6つの基本方針」を踏まえて、みんなで実現したい「くらしの姿」「まちの姿」に向け、個人の生活の質の向上とともに「百人による一歩」の着実な歩みから、「善い地域」を目指したイノベーション（革新）を起こして行くスタート元年として予算を編成しました。

飯田の未来づくりの重要な柱になるリニア中央新幹線整備関連では、リニア駅周辺整備が本格化します。また、(仮称)中央自動車道座光寺スマート IC の設置や、国道 153 号の改良及び三遠南信自動車道に関連する整備など道路ネットワークの強化に向けて、県をはじめ関係機関と連携・調整して具体的な取組を進めます。

飯田市が南信州広域連合からの事務受託により取り組む「産業振興と人材育成の拠点」整備は、4 月に開講予定の「信州大学航空機システム共同研究講座」を起点として、段階的に施設整備等を進めることで、新たな産業振興の拠点機能を充実していきます。

こういった大規模な社会基盤整備や施設整備を生かし、「くらし豊かなまち」をデザインしていく仕組みの構築が必要となります。そこで、20地区の個性を輝かせる「田舎へ還ろう戦略」や、地域が学校運営に参画する「飯田コミュニティスクール」の設置などの新たな事業展開から、飯田の未来づくりを着実に推進していきます。

なお、飯田市制 80 周年を記念する特徴的な取組としては、記念式典の開催とともに、市制 50 周年を記念し埋めたタイムカプセルを 30 年後の今年に開封して、市民の皆さんからのタイムカプセルレター 2,700 通を返信させていただく予定です。

1 平成 29 年度飯田市当初予算の総額

| | | |
|------|----------------|--------------------------------------|
| 一般会計 | 457 億 3,000 万円 | (前年度比 3.2% …平成 28 年度：443 億円) |
| 特別会計 | 507 億 3,320 万円 | (前年度比 1.5% …平成 28 年度：499 億 8,090 万円) |
| 合 計 | 964 億 6,320 万円 | (前年度比 2.3% …平成 28 年度：942 億 8,090 万円) |

平成29年度 飯田市各会計予算の総額

| 会 計 名 | | 予 算 額 | | 比 較 | |
|-----------------|------|------------|------------|-------------|---------|
| | | 29年度 (A) | 28年度 (B) | (A)-(B) (C) | (C)/(B) |
| 一 般 会 計 | | 45,730,000 | 44,300,000 | 1,430,000 | 3.2 |
| 国民健康保険特別会計 | 事業勘定 | 11,515,000 | 11,266,000 | 249,000 | 2.2 |
| | 直診勘定 | 4,700 | 5,300 | △ 600 | △ 11.3 |
| 後期高齢者医療特別会計 | | 1,304,200 | 1,272,000 | 32,200 | 2.5 |
| 介護保険特別会計 | | 10,829,800 | 10,673,400 | 156,400 | 1.5 |
| 地方卸売市場事業特別会計 | | 15,000 | 20,200 | △ 5,200 | △ 25.7 |
| 駐車場事業特別会計 | | 70,000 | 71,500 | △ 1,500 | △ 2.1 |
| 墓地事業特別会計 | | 15,000 | 23,700 | △ 8,700 | △ 36.7 |
| 簡易水道事業特別会計 | | - | 150,000 | △ 150,000 | 皆減 |
| 介護老人保健施設事業特別会計 | | 706,300 | 693,000 | 13,300 | 1.9 |
| ケーブルテレビ放送事業特別会計 | | 96,100 | 128,800 | △ 32,700 | △ 25.4 |
| 病院事業会計 | | 15,413,900 | 15,521,502 | △ 107,602 | △ 0.7 |
| 水道事業会計 | | 4,387,200 | 3,294,600 | 1,092,600 | 33.2 |
| 下水道事業会計 | | 6,376,000 | 6,860,900 | △ 484,900 | △ 7.1 |
| 特別会計の計 | | 50,733,200 | 49,980,902 | 752,298 | 1.5 |
| 計 | | 96,463,200 | 94,280,902 | 2,182,298 | 2.3 |

(単位:千円、%)

| 主 な 内 容 | |
|---|----|
| | 一般 |
| 保険給付費 6,639,542 後期高齢者支援金等 1,243,122 介護納付金 485,598 共同事業拠出金 2,570,219 保健事業費 83,095 | 国保 |
| 三穂診療所、上村歯科診療所 | |
| 後期高齢者医療広域連合納付金 1,267,064 | 後高 |
| 保険給付費 10,170,799 地域支援事業費 456,434 | 介護 |
| 卸売市場費 14,919 | 市場 |
| 中央、本町、飯田駅、駅西、扇町各駐車場の管理運営 66,318 | 駐車 |
| 霊園の管理運営 8,774 基金積立金 6,226 | 墓地 |
| 平成29年度から水道事業へ統合(法適化) | 簡水 |
| 施設管理費 627,132 施設事業費 79,168 | 老施 |
| 竜東維持管理費 50,892 遠山郷維持管理費 18,326 公債費 23,327 | ケテ |
| 収益的収入 12,626,000 収益的支出 13,024,000 資本的収入 1,415,400 資本的支出 2,389,900 | 病院 |
| 収益的収入 2,219,400 収益的支出 2,056,500 資本的収入 1,393,000 資本的支出 2,330,700 | 水道 |
| 収益的収入 4,400,100 収益的支出 3,883,900 資本的収入 1,203,800 資本的支出 2,492,100 | 下水 |
| | 特会 |
| | 計 |

2 一般会計歳入歳出予算の概要

(1) 歳入予算の特徴 (参考 平成 29 年度一般会計歳入 (主な内容と増減内訳) P6.7)

市税は、地域経済の回復基調から個人市民税、法人市民税ともに増が見込まれるなど、対前年度比で 1.3%の増額と算定しました。地方消費税交付金は対前年度比で 7.8%の大幅な減が見込まれ、地方交付税については国の地方財政計画と合併算定替による減見込に対し、特別交付税の決算推移からの増を加味して 1.0%の減と算定しました。また、市債は起債を充てた事業の増加から 13.7%の増、臨時財政対策債は 7.7%の増を見込みました。寄附金に関し、ふるさと寄附金は決算見込みから 1 億円増の 2 億円を見込んだところです。

- ① 市 税： 1 億 62 百万円(1.3%)の増 ※比較は対前年度当初
 - ・ 個人市民税 (現年分) 5 百万円(0.1%)の増
 - ・ 法人市民税 (現年分) 55 百万円(5.7%)の増
 - ・ 固定資産税 (現年分) 1 億 1 百万円(1.8%)の増
- ② 地方消費税交付金： 1 億 75 百万円 (7.8%)の減
- ③ 地方交付税： 1 億 9 百万円(1.0%)の減
- ④ 市 債： 5 億 71 百万円(13.7%)の増
 - ・ 臨時財政対策債 1 億 25 百万円(7.7%)の増
- ⑤ 財源調整のための主要 4 基金の繰入額 7 億 6 百万円(対前年度比 1 億 23 百万円の減)

(2) 歳出予算の特徴 (参考 平成 29 年度一般会計目的別歳出 (主な内容と増減内訳) P8.9)

市役所庁舎整備、稲葉クリーンセンター建設に係る広域連合負担金など事業完了による減があるものの、大型事業費の施設整備等が重なることで、普通建設費は対前年度比 29.3%と大幅に増大しています。具体的には、産業振興と人材育成の拠点整備、特養飯田荘建設、民間保育所等建設、上郷公民館(自治振興センター)耐震整備などとともに、リニア駅周辺整備の調査・設計や(株)座光寺スマート I C 設置に向けた事業費の増、更には(株)天龍峡大橋添架歩廊整備をはじめ三遠南信自動車道関連の社会基盤整備などが大きな要因です。

また「暮らし豊かなまち」に向けて、20 地区の個性を輝かせる「田舎へ還ろう戦略」や、地域が学校運営に参画する「飯田コミュニティスクール」の設置など、飯田の未来づくりへの新たなチャレンジ第 1 歩となる事業の組み立てを図りました。

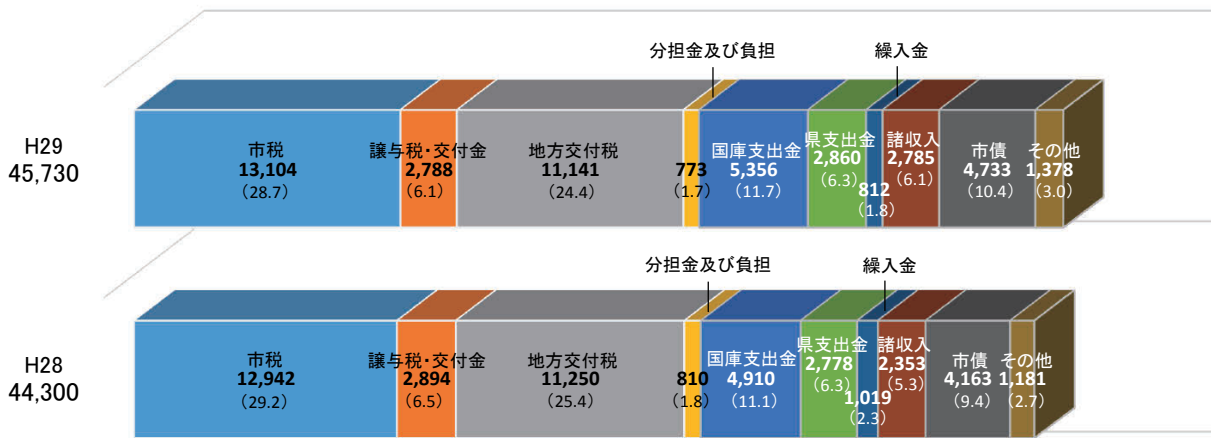
- ① 総務費：対前年度比 4 億66百万円余 (9.7%) の減
主な要因=<増>リニア駅周辺整備、<減>庁舎整備、自治振興センター(上村)耐震化整備
- ② 民生費：対前年度比 8 億29百万円余 (5.7%) の増
主な要因=<増>特養飯田荘建設、民間保育所運営費、民間保育所施設整備
- ③ 衛生費：対前年度比 2 億23百万円余 (4.2%) の減
主な要因=<減>南信州広域連合負担金(稲葉クリーンセンター建設)
- ④ 農林水産業費：対前年度比 53百万円余 (4.1%) の減
主な要因=<増>林道開設 <減>農作物被害対策
- ⑤ 商工費：対前年度比 5 億 5 百万円余 (19.9%) の増
主な要因=<増>産業振興と人材育成の拠点整備、天龍峡活性化
- ⑥ 土木費：対前年度比 3 億11百万円余 (6.1%) の増
主な要因=<増>(株)中央自動車道座光寺スマート I C 設置、三遠南信自動車道(株)天龍峡大橋添架歩廊工事
- ⑦ 消防費：対前年度比 10 百万円余 (0.8%) の増
主な要因=<増>消防体制強化整備(多機能型積載車輛、耐震性防火貯水槽)
- ⑧ 教育費：対前年度比 5 億89百万円余 (15.7%) の増
主な要因=<増>恒川遺跡群保存活用、上郷公民館耐震化整備、私立認定こども園建設補助

平成29年度一般会計予算額

一般会計予算額 【457.3億円】

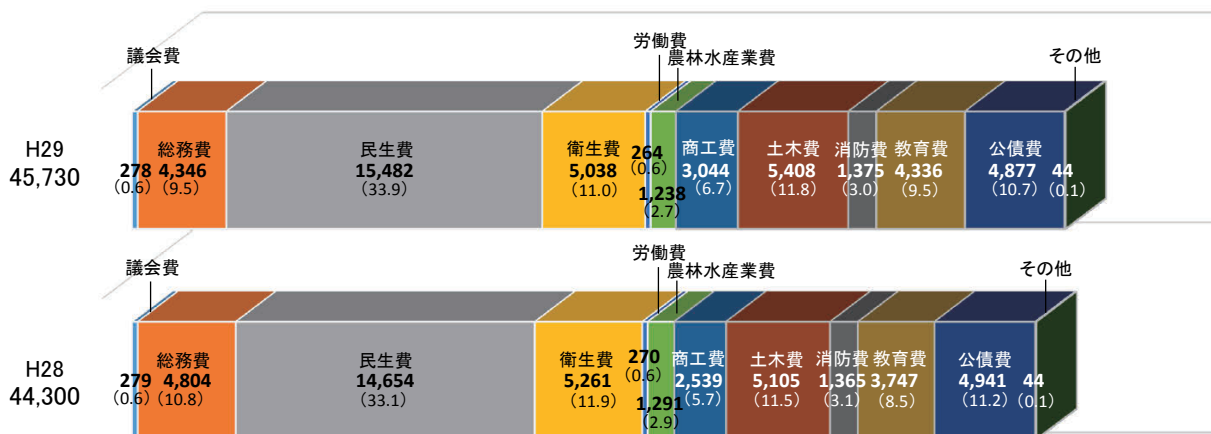
歳入の前年度比較

(単位:百万円)
()は構成比



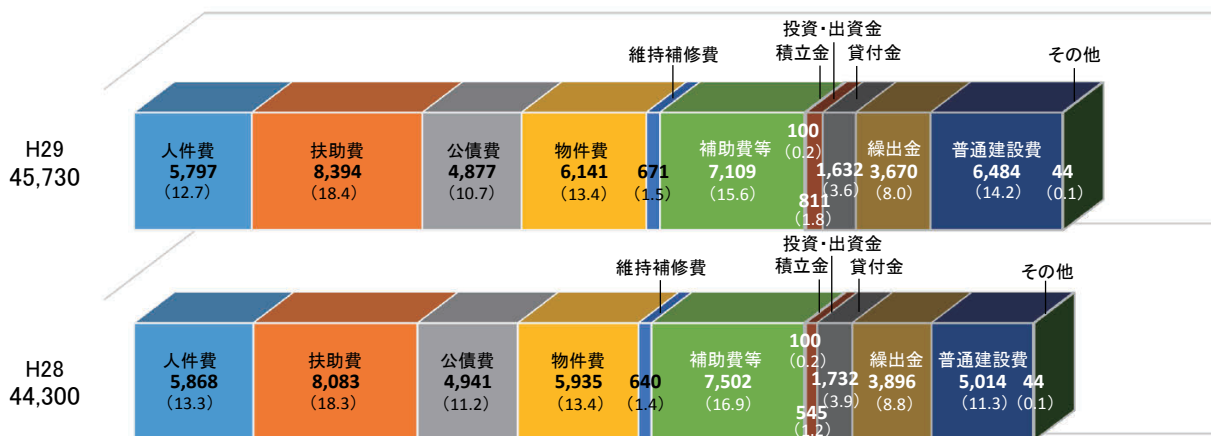
歳出(目的別)の前年度比較

(単位:百万円)
()は構成比



歳出(性質別)の前年度比較

(単位:百万円)
()は構成比



※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

平成29年度 一般会計 歳入 (主な内容と増減内訳)

| 区 分 | 予 算 額 | | (A)の 構成比 | 増 減 | |
|--------------------------|------------|------------|-------------|-------------|---------|
| | 29年度(A) | 28年度(B) | | (A)-(B) (C) | (C)/(B) |
| 1 市 税 | 13,104,000 | 12,942,000 | 28.7 | 162,000 | 1.3 |
| 2 地 方 譲 与 税 | 434,000 | 415,000 | 0.9 | 19,000 | 4.6 |
| 3 利 子 割 交 付 金 | 15,000 | 12,000 | 0.0 | 3,000 | 25.0 |
| 4 配 当 割 交 付 金 | 49,000 | 61,000 | 0.1 | △ 12,000 | △ 19.7 |
| 5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 | 56,000 | 3,000 | 0.1 | 53,000 | 1766.7 |
| 6 地 方 消 費 税 交 付 金 | 2,080,000 | 2,255,000 | 4.5 | △ 175,000 | △ 7.8 |
| 7 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | 86,000 | 84,000 | 0.2 | 2,000 | 2.4 |
| 8 地 方 特 例 交 付 金 | 50,000 | 46,000 | 0.1 | 4,000 | 8.7 |
| 9 地 方 交 付 税 | 11,141,000 | 11,250,000 | 24.4 | △ 109,000 | △ 1.0 |
| 10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 18,000 | 18,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 11 分 担 金 及 び 負 担 金 | 772,764 | 810,280 | 1.7 | △ 37,516 | △ 4.6 |
| 12 使 用 料 及 び 手 数 料 | 537,108 | 540,754 | 1.2 | △ 3,646 | △ 0.7 |
| 13 国 庫 支 出 金 | 5,356,340 | 4,910,032 | 11.7 | 446,308 | 9.1 |
| 14 県 支 出 金 | 2,860,032 | 2,777,578 | 6.3 | 82,454 | 3.0 |
| 15 財 産 収 入 | 33,459 | 34,511 | 0.1 | △ 1,052 | △ 3.0 |
| 16 寄 附 金 | 207,000 | 106,000 | 0.5 | 101,000 | 95.3 |
| 17 繰 入 金 | 811,965 | 1,018,760 | 1.8 | △ 206,795 | △ 20.3 |
| 18 繰 越 金 | 600,000 | 500,000 | 1.3 | 100,000 | 20.0 |
| 19 諸 収 入 | 2,784,932 | 2,353,385 | 6.1 | 431,547 | 18.3 |
| 20 市 債 | 4,733,400 | 4,162,700 | 10.4 | 570,700 | 13.7 |
| 合 計 | 45,730,000 | 44,300,000 | 100.0 | 1,430,000 | 3.2 |

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

| 主 内 容 | 増減(A)-(B)の主な内容 | |
|--|--|----|
| 市民税 5,741,000 (個人 4,722,000 法人 1,019,000) 固定資産税 5,691,000 軽自動車税 337,000 市たばこ税 644,000 入湯税 3,000 都市計画税 688,000 | 市税は現年課税分と比較 個人 5,000 法人 55,000 固定資産税 101,000 軽自動車税 17,000 たばこ税 △14,000 | 市税 |
| 地方揮発油譲与税 126,000 自動車重量譲与税 289,000 | 自動車重量 20,000 地方揮発油 △1,000 | 地譲 |
| | 利子割交付金 3,000 | 利子 |
| | 配当割交付金 △12,000 | 配当 |
| | 株式等譲渡所得割交付金 53,000 | 株式 |
| 地方消費税率引上げによる増収分796,496千円は全額を社会保障施策に充当 (充当内訳: 社会福祉 383,861、社会保険 231,767、保健衛生 180,868) | 地方消費税交付金 △175,000 | 消費 |
| | 自動車取得税交付金 2,000 | 自取 |
| | 地方特例交付金 4,000 | 地特 |
| 普通交付税 10,141,000 特別交付税 1,000,000 | 普通交付税 △209,000 特別交付税 100,000 | 地交 |
| | | 交通 |
| 民生費負担金 692,888 (保育料 607,448 老人措置 79,609) 農林費負担金 52,560 (非補助土地改良 50,000) 総務費負担金 20,868 (戸籍システム共同利用 15,649) | 道路改良事業負担金(広域連合) △15,200 民間保育所保護者負担金 △13,915 公立保育所保護者負担金 △10,939 | 分負 |
| 住宅使用料 148,441 ごみ処理手数料 137,827 休日夜間急患診療所使用料 42,914 道路河川占用料 37,200 文化会館使用料 20,100 斎苑使用料 19,128 戸籍手数料 17,892 地域振興住宅使用料 14,762 建築確認手数料 11,000 住民票手数料 10,669 | 幼稚園使用料 △4,855 休日夜間急患診療所使用料 △2,129 徴税諸証明手数料 △1,001 住民票手数料 △872 建築確認手数料 3,120 | 使手 |
| 【負担金】 民生費 3,843,052 (児童手当 1,286,152 障害者 848,202 生活保護 509,256 民間保育所 763,545 ひとり親家庭 144,071) 衛生費 67,500 (保健基盤安定) 【補助金】 総務費 22,201 (社会保険・税番号制度) 民生費 379,571 (民間保育所整備 259,321 地域生活支援 43,458) 衛生費 12,958 (環境保全 7,838 保健衛生 2,647) 商工費 4,400 (地方創生 2,500 文化財保護 1,000 市街地 900) 土木費 762,704 (道路 539,435 住宅 104,466 橋りょう 99,000) 消防費 9,460 (災害対策) 教育費 234,250 (文化財保護 172,706 文化芸術振興 23,000) | 民間保育所負担金 153,814 民間保育所等整備交付金 126,294 社会資本整備総合交付金 73,504 文化財保護補助金 47,762 地域公共ネットワーク等強靱化事業補助金 20,178 生活保護措置負担金 19,800 障害者自立支援給付費負担金 15,876 子ども・子育て支援交付金 8,567 児童扶養手当負担金 5,480 現年度分低所得者保険料軽減負担金 5,293 児童手当負担金 △8,474 地域生活支援事業補助金 △13,609 | 国庫 |
| 【負担金】 民生費 1,414,784 (障害者 508,105 民間保育所 403,139 児童手当 276,186) 衛生費 225,225 (保健基盤安定) 【補助金】 民生費 593,364 (医療給付 206,405 老人福祉 157,558 民間保育所 120,746 地域子育て支援 60,746) 農林費 243,208 (林業振興 133,371 農業振興 32,941 農政対策 66,619 農業振興 6,000) 教育費 86,896 (子育て支援 74,030) 【委託費】 総務費 218,475 (県民税 160,470 社会体育施設 15,978) | 民間保育所負担金 98,274 老人福祉施設等整備事業補助金 82,122 子育て支援対策臨時特例交付金 73,294 一時預かり事業補助金 12,624 林道開設事業補助金 10,189 子ども・子育て支援交付金 8,567 障害者自立支援給付費負担金 7,938 民有林林道改良事業補助金 △12,120 鳥獣被害防止総合対策交付金 △29,445 参議院議員選挙委託金 △36,151 地域医療介護総合確保基金補助金 △118,241 | 県費 |
| 財産貸付収入 21,406 不動産売却収入 6,001 基金運用収入 5,598 | 基金運用収入(基金利子) △1,105 | 財産 |
| ふるさと寄附金 200,000 奨学資金 6,000 自治振興寄附金 1,000 | ふるさと寄附金 100,000 自治振興寄附金 1,000 | 寄附 |
| 財調 400,000 減債 300,000 公共0 ふるさと 6,000 社会福祉施設 27,340 過疎 25,565 地域雇用 20,930 庁舎 18,016 財産区議会議員選挙 11,442 財産区事務 2,672 | 財政調整 △100,000 社会福祉施設整備 △58,396 庁舎建設 △25,357 減債 △23,000 過疎地域自立促進 △7,190 | 繰入 |
| | 純繰越金 100,000 | 繰越 |
| 貸付金元利収入 1,620,620(商工制度資金 1,400,000 生活資金 170,000) 受託事業収入 674,946(産業振興と人材育成の拠点 549,000) 雑入 485,836 | 産業振興と人材育成の拠点整備事業受託 549,000 中小企業振興資金貸付預託金回収金 △100,000 埋蔵文化財調査受託事業収入 △11,521 | 諸収 |
| 合併特例債 513,600 (社会教育施設 294,300 観光 219,300) 過疎対策事業債 102,800 (公共交通体系 35,200 林道 34,500 災害対策 32,400 自治振興 5,100 道路 15,300) 教育 194,200 (義務教育施設 89,100 社会福祉施設 61,900 学校給食 10,600) その他 3,922,800 土木 924,900 民生 782,900 衛生 206,200 農林 102,400 消防 84,800 総務 61,600 臨時財政対策債 1,760,000 | 介護サービス事業 677,100 公共事業 242,800 上下水道事業 155,300 臨時財政対策債 125,000 緊急防災・減災 83,000 合併特例 △205,700 過疎対策事業 △295,500 | 市債 |
| | | |

平成29年度 一般会計 目的別歳出 (主な内容と増減内訳)

| 区 分 | 予 算 額 | | (A)の構成比 | 増 減 | |
|---------------|------------|------------|---------|-------------|---------|
| | 29年度 (A) | 28年度 (B) | | (A)-(B) (C) | (C)/(B) |
| 1 議 会 費 | 277,507 | 278,822 | 0.6 | △ 1,315 | △ 0.5 |
| 2 総 務 費 | 4,338,697 | 4,804,349 | 9.5 | △ 465,652 | △ 9.7 |
| 3 民 生 費 | 15,482,394 | 14,653,871 | 33.9 | 828,523 | 5.7 |
| 4 衛 生 費 | 5,038,233 | 5,261,386 | 11.0 | △ 223,153 | △ 4.2 |
| 5 労 働 費 | 263,448 | 270,281 | 0.6 | △ 6,833 | △ 2.5 |
| 6 農 林 水 産 業 費 | 1,238,140 | 1,291,041 | 2.7 | △ 52,901 | △ 4.1 |
| 7 商 工 費 | 3,043,640 | 2,538,782 | 6.7 | 504,858 | 19.9 |
| 8 土 木 費 | 5,415,555 | 5,104,410 | 11.8 | 311,145 | 6.1 |
| 9 消 防 費 | 1,374,714 | 1,364,445 | 3.0 | 10,269 | 0.8 |
| 10 教 育 費 | 4,335,859 | 3,747,103 | 9.5 | 588,756 | 15.7 |
| 11 災 害 復 旧 費 | 4,300 | 4,300 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 12 公 債 費 | 4,877,413 | 4,941,110 | 10.7 | △ 63,697 | △ 1.3 |
| 13 諸 支 出 金 | 100 | 100 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 14 予 備 費 | 40,000 | 40,000 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 45,730,000 | 44,300,000 | 100.0 | 1,430,000 | 3.2 |

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

| 主 内 容 | 増 減 の 主 な 内 容 | |
|--|---|----|
| 議会費 277,507 | 事務局職員人件費 △1,050 議員一般経費 △118 | 議会 |
| リニア駅周辺整備事業 210,441 総務一般経費 160,849 住民情報システム管理費 156,967 ふるさと飯田応援隊募集事業 109,193 地域自治支援事業 104,200 市民バス等運行事業 101,345 リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金 100,000 リニア推進事業 96,110 | 庁舎整備事業 △455,814 自治振興センター耐震化整備事業 △237,708 地域振興住宅整備事業 △70,800 総務一般管理費 △50,356 市議会議員選挙費 45,832 ふるさと飯田応援隊募集事業 54,883 リニア推進事業 86,072 リニア駅周辺整備事業 173,623 | 総務 |
| 民間保育所運営費 2,163,574 児童手当費 1,820,525 介護保険特別会計繰出金 1,538,394 後期高齢者医療関係一般経費 1,050,000 総合支援介護給付事業 1,015,475 特別養護老人ホーム飯田荘建設事業 821,740 生活保護措置費 679,008 総合支援訓練等給付事業 677,401 民間保育所施設整備事業 425,291 | 特別養護老人ホーム飯田荘建設事業 429,916 民間保育所運営費 232,672 民間保育所施設整備事業 146,440 生活保護措置費 26,400 老人福祉一般経費 23,814 一時預かり・特定保育事業 18,936 児童手当費 △12,150 北方寮管理費 △12,737 特別養護老人ホーム等建設補助事業 △159,518 | 民生 |
| 病院事業会計負担金 1,351,115 水道費 671,699 広域連合負担金(焼却場) 590,830 国民健康保険特別会計繰出金 576,725 ごみ収集処理費 301,223 予防接種事業 181,492 妊婦健診事業 118,594 | 南信州広域連合負担金(焼却場) △324,513 国民健康保険特別会計繰出金 △130,182 簡易水道事業特別会計繰出金 △90,100 ごみ収集処理費 14,833 南信州広域連合負担金(竜水園) 19,245 病院事業負担金 35,615 水道費 243,002 | 衛生 |
| 勤労者協調融資 170,000 勤労者福祉センター管理費 18,596 桐林勤労者福祉センター管理費 17,521 労働諸費 12,753 | 桐林勤労者福祉センター管理費 △5,671 勤労者福祉センター管理費 △2,300 | 労働 |
| 林道改良事業(補助) 181,678 農業基盤整備資金償還補助事業 118,302 市単土地改良事業 114,032 非補助土地改良事業 50,000 農作物鳥獣被害対策事業 40,324 意欲ある農業者支援事業 37,405 中山間地域等直接支払事業 32,256 | 農作物被害対策事業 △33,598 林道改良事業(補助) △23,002 農業基盤整備資金償還補助事業 △18,827 6次産業化推進事業 △6,861 市単土地改良事業 10,000 国土保全特別対策事業 15,500 林道開設事業 21,190 | 農林 |
| 中小企業金融対策事業 1,500,000 産業振興と人材育成の拠点整備事業 611,043 天龍峡活性化事業 244,847 企業立地促進事業補助金 87,000 地場産業等振興事業 43,982 | 産業振興と人材育成の拠点整備事業 611,043 天龍峡活性化事業 175,478 企業立地促進事業補助金 17,000 中小企業金融対策事業 △110,000 社会資本整備総合交付金(天龍峡) △116,863 | 商工 |
| 下水道費 1,910,700 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 358,000 防災・安全交付金事業(道路整備) 333,000 道路補修事業 213,075 公営住宅整備事業(補助) 208,932 道路舗装補修事業 200,955 橋りょう長寿命化修繕事業 184,202 | 社会資本整備総合交付金事業 178,300 防災・安全交付金事業(道路整備) 112,600 橋りょう耐震整備事業 86,200 飯橋道関連事業(単独) 40,500 市道改良事業 38,515 防災・安全交付金事業(通学路安全対策) 34,000 公営住宅整備事業(補助) △121,383 | 土木 |
| 広域連合負担金(消防) 981,047 消防団運営事業 184,901 消防体制強化整備事業(単独) 61,111 災害対策一般経費 59,522 | 消防体制強化整備事業(単独) 32,061 住宅倒壊防止対策事業 8,500 消防団詰所整備事業 △31,966 | 消防 |
| 公民館等耐震化整備事業 312,316 私立認定こども園施設整備事業補助金 285,207 恒川遺跡群保存活用事業(補助) 215,722 調理業務委託費 189,071 体育施設管理費 166,846 情報通信技術活用教育推進事業 149,764 公民館管理・運営費 118,717 | 私立認定こども園施設整備事業補助金 284,103 公民館等耐震化整備事業 259,657 恒川遺跡群保存活用事業(補助) 59,342 情報通信技術活用教育推進事業 58,162 歴史研究所事務所移転事業 47,549 小学校施設床改修事業 33,268 調理場整備事業 △37,536 | 教育 |
| 土木施設単独災害復旧 2,000 林道単独災害復旧 1,300 | | 災害 |
| 長期債元金 4,606,968 長期債利子 268,445 一時借入金利子 2,000 | 元金 △3,164 利子 △60,533 | 公債 |
| 学術研究振興基金積立 100 | | 諸支 |
| 予備費 40,000 | | 予備 |
| | | |

平成29年度 一般会計 性質別歳出 (主な増減内訳)

| | 29年度予算額 | | 28年度予算額 | | 増減 | |
|----------|------------|-------|------------|-------|-------------|---------|
| | (A) | 構成比 | (B) | 構成比 | (A)-(B) (C) | (C)/(B) |
| 1 人件費 | 5,796,500 | 12.7 | 5,868,269 | 13.3 | △ 71,769 | △ 1.2 |
| 2 扶助費 | 8,393,587 | 18.3 | 8,083,055 | 18.3 | 310,532 | 3.8 |
| 3 公債費 | 4,877,413 | 10.7 | 4,941,110 | 11.2 | △ 63,697 | △ 1.3 |
| 小計 | 19,067,500 | 41.7 | 18,892,434 | 42.8 | 175,066 | 0.9 |
| 4 物件費 | 6,141,129 | 13.4 | 5,935,021 | 13.4 | 206,108 | 3.5 |
| 5 維持補修費 | 671,361 | 1.5 | 639,935 | 1.4 | 31,426 | 4.9 |
| 6 補助費等 | 7,108,536 | 15.5 | 7,501,834 | 16.9 | △ 393,298 | △ 5.2 |
| 7 積立金 | 100,100 | 0.2 | 100,100 | 0.2 | 0 | 0.0 |
| 8 投資・出資金 | 811,091 | 1.8 | 544,953 | 1.2 | 266,138 | 48.8 |
| 9 貸付金 | 1,631,900 | 3.6 | 1,731,660 | 3.9 | △ 99,760 | △ 5.8 |
| 10 繰出金 | 3,669,702 | 8.0 | 3,895,905 | 8.8 | △ 226,203 | △ 5.8 |
| 11 投資的経費 | 6,488,681 | 14.2 | 5,018,158 | 11.3 | 1,470,523 | 29.3 |
| 補助 | 2,562,142 | 5.6 | 1,950,692 | 4.4 | 611,450 | 31.3 |
| 単独 | 3,926,539 | 8.6 | 3,067,466 | 6.9 | 859,073 | 28.0 |
| 普通建設費 | 6,484,381 | 14.2 | 5,013,858 | 11.3 | 1,470,523 | 29.3 |
| 補助 | 2,562,142 | 5.6 | 1,950,692 | 4.4 | 611,450 | 31.3 |
| 単独 | 3,922,239 | 8.6 | 3,063,166 | 6.9 | 859,073 | 28.0 |
| 災害復旧費 | 4,300 | 0.0 | 4,300 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 補助 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 単独 | 4,300 | 0.0 | 4,300 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 12 予備費 | 40,000 | 0.1 | 40,000 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 45,730,000 | 100.0 | 44,300,000 | 100.0 | 1,430,000 | 3.2 |

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

単位：千円、%

| 増減の主な内容 | | |
|---|--|----|
| 職員給与 10,795 退職手当 △62,689 市町村共済負担金 △14,690 | | 人件 |
| 民間保育所運営費 232,672 生活保護措置費 25,522 準要保護児童・生徒給食扶助費 21,187 障害者支援給付 20,388 児童扶養手当 16,438 子どもの医療給付 13,402 児童手当 △12,150 | | 扶助 |
| 元金 △3,164 利子 △60,533 | | 公債 |
| | | 小計 |
| リニア駅周辺整備 172,502 リニア推進事業 86,257 ICT教育ネットワーク環境整備 40,357 業務用パソコン更新 24,874 住民情報システム更新 24,664 図書館システム更新 24,154 乳幼児予防接種 21,465 除籍・改製原戸籍電子化 19,980 児童館・児童クラブ・児童センター運営 17,424 ふるさと飯田応援隊募集 16,883 PCB処理経費 △52,527 産業用地整備 △45,988 固定資産評価替 △43,592 教科書購入 △27,723 学校パソコン・サーバー機器購入 △14,800 データ放送システム機器更新 △11,129 | | 物件 |
| 道路定期点検 20,000 道路舗装補修 13,169 除雪費 △3,310 | | 維持 |
| 簡易水道事業補助金 44,489 ふるさと飯田応援隊募集 38,000 広域連合負担金(竜水園) 19,245 一時預かり・特定保育補助金 18,936 特別養護老人ホーム運営補助金 18,000 市議会議員選挙費 14,725 広域連合負担金(焼却場) △342,513 特別養護老人ホーム等建設補助金 △159,518 病院事業負担金 △38,385 鳥獣被害対策 △29,605 下水道事業補助金 △24,156 | | 補助 |
| | | 積立 |
| 水道事業出資金 192,138 病院事業出資金 74,000 | | 投資 |
| 中小企業金融対策事業預託金 △100,000 奨学金貸付金 240 | | 貸付 |
| 介護保険 8,912 介護老人保健施設 3,910 後期高齢者医療 3,281 国民健康保険 △130,182 簡易水道 △90,100 ケーブルテレビ △21,700 地方卸売市場 △324 | | 繰出 |
| | | 投資 |
| | | 補助 |
| | | 単独 |
| | | 普建 |
| 私立認定こども園施設整備 284,103 社会資本整備(道路) 183,000 民間保育所施設整備 146,440 防災・安全交付金(道路) 92,600 恒川遺跡群保存活用 59,342 防災・安全交付金(通学路) 34,000 林道開設 21,190 公営住宅整備 △121,383 社会資本整備(天龍峡) △116,863 林道改良(補助) △23,002 | | 補助 |
| 産業振興と人材育成の拠点整備 606,996 特別養護老人ホーム飯田荘建設 429,916 公民館等耐震化整備 259,657 天龍峡活性化事業 170,920 橋りょう耐震整備 86,200 歴史研究所移転 47,549 飯喬道路関連事業 40,500 学校施設床改修 33,268 消防体制強化整備 32,072 産業用地整備 30,000 中山間地域振興 26,991 ICT教育機器等整備 25,948 庁舎整備 △455,814 自治振興センター耐震化整備 △237,708 地域振興住宅整備 △70,800 調理場整備 △38,400 消防団詰所整備 △31,966 防災対策避難路整備 △31,800 | | 単独 |
| | | 災害 |
| | | 補助 |
| | | 単独 |
| | | 予備 |

3 市政経営の6つの基本方針における平成29年度予算の特徴

| 6つの基本方針・予算額 | 取組の方向性 |
|---|---|
| <p>1 経済自立度を向上させ、若い人が帰って来られる産業づくり</p> <p>H29年度当初予算額</p> <p>3,566,973</p> | <p>■南信州・飯田ならではのサイエンスパーク実現に向けた展開 ■新たな地域企業・地域人材確保 ■持続可能な農林業の実現</p> <p>★関連する「いいだ未来デザイン2028」の主な基本的方向 基本目標1 若者が帰ってこられる産業をつくる</p> |
| <p>2 地育力により飯田に帰って来たいと考える人づくり</p> <p>H29年度当初予算額</p> <p>1,911,003</p> | <p>■地育力による心豊かな人づくり</p> <p>★関連する「いいだ未来デザイン2028」の主な基本的方向 基本目標3 地育力が支える学び合いで、生きる力を持ち、心豊かな人材を育む</p> |
| <p>3 誰もが住み続けたいと思う地域づくり</p> <p>H29年度当初予算額</p> <p>20,981,933</p> | <p>■子育て世代の希望を叶える仕組みづくり ■一人ひとりが健康を意識し、高齢者になっても不安なく暮らせるまちづくり ■地域の誇りと愛着で20地区の個性が輝き、多様なライフスタイルを実現するまちづくり ■安全安心のまちづくり ■広域連携課題への対応</p> <p>★関連する「いいだ未来デザイン2028」の主な基本的方向 基本目標5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 基本目標6 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす 基本目標7 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる 基本目標8 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる 基本目標9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する 基本目標11 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める</p> |
| <p>4 地域ぐるみで環境に配慮した低炭素なまちづくり</p> <p>H29年度当初予算額</p> <p>3,909,210</p> | <p>■環境意識の醸成・向上 ■遠山郷における環境関連プロジェクト推進 ■豊かな自然、良好な生活環境の保全</p> <p>★関連する「いいだ未来デザイン2028」の主な基本的方向 基本目標10 豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる</p> |
| <p>5 リニア・三遠南信道の開通・全通時代を見据えた飯田ブランドの確立</p> <p>H29年度当初予算額</p> <p>645,751</p> | <p>■「地域にあるもの」を磨き上げ、飯田の知名度を高め、新しい人の流れづくり</p> <p>★関連する「いいだ未来デザイン2028」の主な基本的方向 基本目標2 飯田市への人の流れをつくる</p> |
| <p>6 リニア時代を見据えた社会資本整備を進め、国際学術研究機能を有する「小さな世界都市・飯田」の実現</p> <p>H29年度当初予算額</p> <p>2,812,113</p> | <p>■地域振興の知の拠点整備 ■リニア関連工事への対応 ■リニアメリットを最大限に生かした交流人口の増加 ■国際学術研究機能を有する「小さな世界都市・飯田」の実現</p> <p>★関連する「いいだ未来デザイン2028」の主な基本的方向 基本目標4 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくり出す 基本目標12 リニア時代を支える都市基盤を整備する</p> |

【戦略計画事業総額：8,329,013千円】

基本目標 1

若者が帰ってこられる産業をつくる

【基本目標総額：952,991千円】

＜戦略（考え方）＞

- 地域産業の持続的発展に資する研究開発力の強化を図るとともに、新産業の創出、地域産業の高付加価値化への挑戦を支援します。
- 長野県や南信州広域連合などと連携協調し、地域の産業拠点としての「産業振興の知の拠点」整備を推進します。
- 地域産業の将来を支える担い手・起業家の育成に取り組みます。

＜進捗状況確認指標＞

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|---------------|-------------------|-------------------|
| 学卒者の地域内回帰・定着率 | 38.9% (平成28年度) | 50.0% (平成31年度) |

＜戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組＞

◆ 「新たな産業振興の拠点」の形成

- ・様々な「知」が集積する産業振興の拠点の形成に向けて、旧飯田工業高校の体育館棟・機械科棟を改修整備します。(南信州広域連合からの受託事業)

【産業振興と人材育成の拠点整備事業】 事業費：606,996千円

- ・4月に開講を予定している「信州大学航空機システム共同研究講座」の運営を支援し、航空宇宙産業分野における高度人材の育成に取り組みます。

【産業振興と人材育成の拠点整備事業】 事業費：4,047千円

- ・工業技術センター・飯田EMCセンターの試験機器を充実させ、公的試験場機能の強化を図るとともに、利用促進のPRを積極的に行います。

【産業振興と人材育成の拠点整備事業】 事業費：一千円

◆ 新たな産業分野、地域産業の高付加価値化への挑戦

- ・航空機システム分野への参入、共同受注量の増大、それに携わる人材の育成など、飯田航空宇宙プロジェクトの取組を支援します。

【新産業創出事業】 事業費：10,003千円

- ・医療福祉現場での課題解決のための製品開発・地域産品を活用した健康食品の共同研究、新商品開発への取組を支援します。

【新産業創出事業】 事業費：1,067千円

- ・食品産業における新商品開発と販路拡大の促進を図り、地域内産品を活用した異業種連携による共同研究を支援します。

【新産業創出事業】 事業費：3,496千円

- ・森林認証による南信州の木のブランド化を進め、地域に適した住宅づくりの仕組みを構築します。

【林業振興事業】 事業費：700千円

- ・農畜産物の生産基盤や農畜産物のブランド化を強化するとともに、三遠南信地域が連携した取組等により新マーケットの開拓を推進します。

【農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業、強い園芸産地育成事業】 事業費：27,897千円

◆ 地域産業の担い手確保

- ・高校生を対象として、長期休暇を活用したインターンシップ制度を構築します。

【雇用対策事業】 事業費：300千円

- ・農業経営の安定と拡大を図り、新規就農者と農家の後継者の確保に取り組みます。

【担い手確保・育成支援事業】 事業費：60,883千円

- ・森林ボランティアの登録を奨励するとともに、林業現場における架線系技術の習得を支援し、森林整備を推進します。

【森林づくり推進事業、林業振興事業】 事業費：1,200千円

- ・総合的な起業支援窓口を整備し、起業に必要とされる経営技術などの支援を行います。

【起業家育成支援事業、にぎわい創出店舗活用事業】 事業費：13,107千円

◆ 産業用地の整備と戦略的な企業誘致の推進

- ・龍江インター産業団地（仮称）の整備に向けた地元との協議を進め、必要な法的手続きを行います。

【産業用地整備事業】 事業費：30,000千円

- ・企業誘致や事業拡大による新規立地の促進を図ります。

【企業誘致・立地促進事業】 事業費：89,437千円

基本目標2

飯田市への人の流れをつくる

【基本目標総額：331,319千円】

<戦略（考え方）>

- リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の全線開通による新しい交通網時代を見据え、世界に誇れる多様なライフスタイルの提案により、移住者の増加を目指します。
- この地域を訪れる人を増やすため、国内外から多くの人を惹きつける魅力づくりに取り組みます。
- 地域の魅力をさらに磨き上げて地域ブランドを構築するとともに、地域の魅力をプロモーションします。
- リニア中央新幹線長野県駅を見据えたまちづくりにおける、中心拠点としての中心市街地の魅力づくりを推進します。

<進捗状況確認指標>

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|---------|-------------------|-------------------|
| 休日滞在人口率 | 1.44倍 (平成26年度) | 1.50倍 (平成31年度) |

<戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組>

◆ 飯田だから実現できるライフスタイルの提案

- ・移住相談から定住まで一貫して支援する仕組みを構築し、地域と一体となって移住希望者への積極的な情報発信を行います。

【人材誘導事業、担い手確保・育成支援事業、農業振興センター事業】 事業費：2,583千円

- ・「モデル地区」を設定して、農ある暮らしなど飯田ならではのライフスタイルの提案と、「お試し住宅」の活用による移住希望者の受入を進めます。

【担い手確保・育成支援事業、農業振興センター事業】 事業費：894千円

- ・宇宙留学サマーキャンプの参加対象を首都圏及び中京圏等に拡大して実施します。

【宇宙教育推進事業】 事業費：900千円

- ・自然保育を中心に保育の質を高めるため、県の「信州やまほいく」認定を公立保育園全園で取得します。また、県の認定をステップに、園、保護者、地域などと協力して飯田市版の自然型保育のあり方を研究します。

【公立保育所施設整備事業】（基本目標5から再掲） 事業費：一千万円

- ・飯田コミュニティスクールについて多くの地域住民が参加できるように、学校支援活動の活発化に取り組みます。

【飯田コミュニティスクール推進事業】（基本目標3から再掲） 事業費：252千円

◆ ふるさとパワーアップ！20地区の個性を輝かせる（基本目標8から再掲）

- ・各地区が「田舎へ還ろう戦略事業」に取り組むための課題を整理、研究し、人材支援など必要な支援に取り組みます。また、実行のため、ふるさと納税を原資とした交付金を交付し支援します。

【20地区田舎へ還ろう戦略支援事業】 事業費：8,530千円

- ・各地区まちづくり委員会等と協働して、空き家の活用を促進します。

【総合的な空き家対策事業】 事業費：7,678千円

◆ 「結いのまち」飯田においてなんしょ

- ・信州DC（デスティネーションキャンペーン）や首都圏の情報発信拠点を積極的に活用して誘客を図ります。また、地域の暮らしや文化等を素材にした体験型観光プログラムを活用し、インバウンドを推進します。

【観光誘客推進事業、エコツーリズム推進事業】 事業費：21,893千円

- ・改築後の天龍峡温泉交流館の多様な機能を生かして、天龍峡及び周辺エリアの周遊観光を促進します。

【天龍峡まちづくり支援事業】 事業費：246,968千円

- ・道の駅を核とした遠山郷の地域活性化に向けた取組を推進するとともに若者の思いを実現するプロジェクト事業を支援し、移住定住を促進します。

【遠山郷観光戦略プロジェクト事業】 事業費：19,195千円

◆ 地域ブランドの構築と飯田の魅力が伝わるプロモーション

- ・インバウンドの促進に向けて「2027リニアアクション（20コンテンツ+2メディア+7言語）」により海外へ飯田の魅力を発信します。

【リニア地域づくり推進事業】 事業費：8,156千円

- ・市民と一緒に飯田の魅力発信やガイドブック作りを行い、飯田に暮らすことの誇りや愛着、シビックプライドを醸成します。

【シティプロモーション推進事業】 事業費：7,290千円

- ・大学研究者等との連携のもと、新たな学習手法を導入した「南信州飯田フィールドスタディ」の学習プログラムを構築し、実践します。

【大学とのネットワーク構築事業】 事業費：3,361千円

◆ 魅力的な中心拠点の形成

- ・第3期中心市街地活性化計画の策定に着手します。

【中心市街地活性化事業推進事務】 事業費：2,000千円

- ・中心市街地への来訪者を増加させるために、まちなか誘導事業を効果的に実施し、新たな取組を検討します。

【中心市街地活性化事業推進事務、りんご並木活性化事業】 事業費：3,268千円

- ・空き店舗の実態調査を実施し、中心市街地の活性化に向けた取組を関係団体と検討します。

【中心市街地活性化事業推進事務】 事業費：234千円

- ・飯田駅周辺が果たす中心市街地の玄関口としての機能と役割を明らかにするために、リニア時代を見据えた課題を整理し、将来像を検討します。

【中心市街地活性化事業推進事務】 事業費：一千円

基本目標3

地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む

【基本目標総額：200,126千円】

<戦略（考え方）>

○地育力（地域の資源と人材）を活用した飯田らしい小中連携・一貫教育と多様な学習交流を推進し、リニア時代を生き抜く力（主体性・柔軟性・協調性・コミュニケーション力・グローバルな発想力とローカルな視点での行動力・倫理観）を培う人材を育みます。

<進捗状況確認指標>

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|--------------------|---------------------------|-------------------------|
| 保護者・地域住民の教育活動への参加率 | 小94.3% 中77.8% (平成28年度) | 小100% 中100% (平成32年度) |
| ICT活用のための校内研修の実施率 | 小31.6% 中33.3% (平成28年度) | 小70% 中70% (平成32年度) |

<戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組>

◆ 飯田らしい小中連携・一貫教育の推進

- ・中1ギャップによる不登校生徒数を減少させる取組を行います。

【教育相談事業】 事業費：7,334千円

- ・中学校区ごとに義務教育9年間の系統的な指導計画・学習プログラムを作成します。

【小中連携・一貫教育推進事業】 事業費：30,140千円

◆ 地域と学校がつながる飯田コミュニティスクールの立ち上げと推進

- ・飯田コミュニティスクールについて多くの地域住民が参加できるように、学校支援活動の活発化に取り組みます。

【飯田コミュニティスクール推進事業】 事業費：252千円

- ・各小中学校の具体的な取組事例を関係者が共有し学びあう機会を作ります。

【飯田コミュニティスクール推進事業、小中連携・一貫教育推進事業】 事業費：900千円

- ・高校におけるコミュニティスクールの立ち上げに向けて、飯伊の各高校と地域や公民館とが連携して、高校生が担う事業を展開します。

【飯田コミュニティスクール推進事業】 事業費：一千円

◆ LG（地域・地球）飯田教育の充実

- ・学校現場において「LG（地域・地球）飯田教育」の目的を理解して、教科教育の中で関連づけた研究を行います。

【地育力向上推進事業、社会教育推進事業、科学実験教室推進事業、宇宙教育推進事業、美術博物館教育普及・活動支援事業】 事業費：6,356千円

◆ ICTを活用した教育課題への対応

- ・遠山中学校区3校で、小規模校の子どもたちの自主性、コミュニケーション能力を高めるために、ICT（情報通信技術）を活用した実証検証を行います。

【小学校ICT教育推進事業、中学校ICT教育推進事業】 事業費：36,638千円

- ・旭ヶ丘中学校区3校で、特別支援学級、不登校児童・生徒に対する子どもたちの学習機会を確保し、学習意欲を高めるために、ICTを活用した実証検証を行います。

【小学校ICT教育推進事業、中学校ICT教育推進事業】 事業費：54,957千円

- ・竜東中学校区4校で、問題解決型学習の実践により子どもたちの思考力・判断力・表現力を育むために、ICTを活用した実証検証を行います。

【小学校ICT教育推進事業、中学校ICT教育推進事業】 事業費：49,401千円

◆ 高校生を対象とした地域人教育の推進

- ・地域を愛し、理解し、地域で活躍する人材育成のために、地元高校生を対象とした「地域人教育」により、地域資源と教育資源をつなげる取組を行います。

【高校生等次世代育成事業】 事業費：1,915千円

- ・高校生が講師となって行う出前講座を市内小中学校で行います。

【高校生等次世代育成事業】 事業費：1,915千円

- ・飯田・下伊那地域の高校生の意欲的なまちづくり活動などに対して、年間を通じてコーディネート及び支援をします。

【高校生等次世代育成事業】 事業費：一千円

基本目標4

自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす

【基本目標総額：439,424千円】

＜戦略（考え方）＞

- 「伊那谷の自然と文化」をテーマとした学術研究、教育普及、保存継承、活用創造の取組を、行政・教育機関の連携と、市民研究団体及び地域組織等との協働により、総合力を発揮して推進します。
- 「地域振興の知の拠点」の形成を目指します。

＜進捗状況確認指標＞

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|---------------|--------------------------|---------------------|
| 調査研究報告書等の発刊件数 | 16件 (平成25～27年度平均) | 18件 (平成32年度) |
| 教育普及事業延べ参加者数 | 46,277人 (平成25～27年度平均) | 48,100人 (平成32年度) |
| 指定等文化財の累計 | 174件 (平成27年度) | 184件 (平成32年度) |
| 美術博物館来館者数 | 50,910人 (平成25～27年度平均) | 53,500人 (平成32年度) |

＜戦略計画〔平成29(2017)年度〕に基づき実施する主な取組＞

◆ 「伊那谷の自然と文化」への玄関口 飯田市美術博物館の魅力度アップ

- ・菱田春草の生誕地として、「美術品等取得基金」を活用した収蔵作品の充実と春草の生涯を知ることができる作品や資料を常時観られる環境づくり（美術博物館の春草記念室の常設展示化）を進めます。

【美術博物館資料調査研究・収集保管事業、美術博物館展示公開事業】事業費：10,497千円

- ・「伊那谷の自然と文化」の特徴をプラネタリウムを活用したドームシアターで紹介するため、新番組を制作します。

【プラネタリウム運営事業】事業費：1,153千円

◆ 国指定の史跡名勝の保存・整備・活用

- ・「史跡 恒川官衙遺跡」について、史跡公園の整備に向けた公有地化や整備基本計画の策定を行います。

【恒川遺跡群保存活用事業】事業費：219,322千円

- ・「史跡 飯田古墳群」について史跡指定を記念する特別展等を開催するとともに、今後の保存活用方針を定める計画策定に着手します。

【美術博物館展示公開事業、飯田古墳群保存活用事業】 事業費：9,150千円

- ・「名勝天龍峡」についてガイドンス機能の整備計画を策定します。

【天龍峡まちづくり支援事業】 事業費：一千元

◆ 人形劇の世界都市としての推進力・求心力の向上

- ・平成30年夏に開催予定の世界人形劇フェスティバル及びAVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）総会に向けた計画・準備を進めます。

【人形劇のまちづくり事業】 事業費：8,800千円

- ・AVIAMA活動の輪を広げるための取組を進めます。

【人形劇のまちづくり事業、シティプロモーション推進事業】 事業費：5,000千円

- ・「人形劇のまち飯田」の新たなモニュメントの整備に向けて、市民と行政が協働した取組を進めます。

【人形劇のまちづくり事業、人形とけい塔管理事業】 事業費：848千円

◆ 「地域振興の知の拠点」の形成に向けた取組の推進

- ・持続的で自立的な地域づくりに向けて、地域内外の知見を融合させて新たな価値を創造・発信する「地域振興の知の拠点」づくりの構想を策定します。

【社会教育推進事業】 事業費：一千元

- ・上郷公民館・自治振興センターの耐震改築事業の着手にともない、飯田市歴史研究所の機能を他施設（現鼎東保育園）に暫定的に移転します。

【歴史研究所管理事業】 事業費：47,549千円

◆ 遠山郷の魅力の顕在化と情報発信

- ・遠山郷の多様な地域資源について、文化財指定に向けた調査検討を行います。

【文化財保護事業】 事業費：230千円

- ・霜月祭を中心とする民俗芸能に係る調査研究と担い手・支え手の確保・育成への支援を行います。

【文化財保護事業】 事業費：560千円

- ・南アルプスユネスコエコパーク・ジオパークについて、構成する主要な資源の価値を明らかにするとともに、情報発信機能を高める取組を行います。

【美術博物館展示公開事業、美術博物館教育普及・活動支援事業】 事業費：5,055千円

基本目標5

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【基本目標総額：1,915,574千円】

<戦略（考え方）>

○産み育てたいと思う子どもの数の理想実現に向けた環境づくりを進めるとともに、子育てが孤立しない環境づくりと、地域の応援による子育てや見守りができるまちづくりを進めます。

<進捗状況確認指標>

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|---------|------------------|------------------|
| 合計特殊出生率 | 1.76 (平成26年度) | 1.80 (平成31年度) |

<戦略計画〔平成29(2017)年度〕に基づき実施する主な取組>

◆ 信頼と絆で応援、健康な子育てのまちづくりの推進

- ・飯田市子ども家庭応援センターを中心に、子育て・発達相談ニーズ調査分析を行い、関係機関と連携した地域ぐるみの支援モデルをつくります。

【子ども発達総合支援事業】 事業費：8,843千円

- ・仕事を持ちながら子育てができる環境づくりを進めるため、公立保育園の特別保育について、地域の課題に即したモデル的事業を導入します。

【次世代育成支援対策事業】 事業費：600千円

- ・児童館・児童センター・児童クラブの開所時間を延長します。

【児童館・児童センター・児童クラブ運営事業】 事業費：142,229千円

- ・安心して出産できる環境をつくるため、里帰り分娩も含めて市立病院が受け入れます。また、妊産婦さんがほっとできる相談支援を行います。

【乳幼児保健事業】 事業費：1,804千円

◆ すべての子どもの安心と希望の実現（子どもの貧困対策）

- ・民間認定こども園（1号認定）における保育料階層の拡大により、世帯の収入に応じた保護者の負担軽減を図ります。

【保育料軽減事業】 事業費：1,845千円

- ・子どもがいる生活困窮世帯の支援体制を構築するとともに、経済的支援のため、準要保護者を対象とする学校給食費の無料化に取り組みます。

【小学校就学援助等事業、中学校就学援助等事業】 事業費：43,229千円

- ・ひとり親家庭の子育てを包括的に援助するため、市民共助による子どもの学習支援と育児サポートを得やすい環境を整えます。

【ひとり親家庭福祉推進事業、次世代育成支援対策事業】 事業費：625千円

- ・児童虐待を予防するため、関係機関と連携して、早期に気づき、相談・援助する体制を向上させます。

【こども家庭応援センター運営事業】 事業費：10,582千円

◆ 「飯田版！上質な子育て環境」づくり

- ・自然保育を中心に保育の質を高めるため、県の「信州やまほいく」認定を公立保育園全園で取得します。また、県の認定をステップに、園、保護者、地域などと協力して飯田市版の自然型保育のあり方を研究します。

【公立保育所施設整備事業】 事業費：一千万円

- ・子育て移住を視野に入れ、市民公募の「みんなで子育て応援サポーター」を中心とした情報発信を強化します。

【次世代育成支援対策事業】 事業費：3,538千円

- ・保護者に優しく、切れ目のない支援ツールとしての携帯端末の情報媒体（子育てアプリ等）の研究を進めます。

【次世代育成支援対策事業】 事業費：一千万円

◆ 結婚したいと思う若者へのライフデザイン支援

- ・未来のパートナーとの出会いの機会をつくるため、各種イベントの開催や結婚相談員・結婚支援アドバイザーによる結婚相談を行います。

【ともに未来を支え合うパートナーづくり事業】 事業費：7,329千円

- ・子どもを持ちたいと望む夫婦のため、不妊治療費の助成に加え不妊や不育の相談事業を実施します。

【不妊治療費助成事業】 事業費：9,453千円

基本目標6

「市民総健康」と「生涯現役」をめざす

【基本目標総額：524,153千円】

＜戦略（考え方）＞

○市民一人ひとりが、心身ともに健やかに暮らすことで、家族や地域がいきいきと輝き続けられます。市民（個人・家族）、地域（団体・機関等）、行政（専門職）等の多様な主体が一緒になって役割を発揮し、健康寿命が延伸されるまちをつくれます。

＜進捗状況確認指標＞

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|------------------------------|--------------------|--------------------|
| 65歳以上における 要介護認定者割合（伸び率抑制） | 18.80% （平成27年度） | 20.40% （平成32年度） |
| 介護予防事業への参加者数 （いきいき教室等） | 4,054人 （平成27年度） | 5,000人 （平成32年度） |

＜戦略計画〔平成29(2017)年度〕に基づき実施する主な取組＞

◆ 地域、家族とともに進める健康づくり

- ・62歳の国保加入者を対象に保健師による家庭訪問を行い、生涯現役に向けた生活習慣病予防を進めます。

【一般健康相談事業】 事業費：1,840千円

- ・特定健診受診者で、生活習慣病重症化予防の対象者に保健指導を行い、医療機関の受療率の向上に取り組みます。

【一般健康相談事業】 事業費：1,840千円

- ・子宮がん検診について20、30歳女性と40、50、60歳の節目年齢で申込みのない方に再受診勧奨を行い、受診率の向上に取り組みます。

【健康診査事業】 事業費：65,951千円

◆ 介護予防の推進

- ・全ての高齢者が介護予防や健康づくりに主体的に取り組む働きかけを行うため、介護予防サポーターを養成します。

【一般介護予防事業】 事業費：1,314千円

- ・高齢者が、介護が必要な状態にならないようにするため、いきいき教室での運動や、健脚大学、はつらつ運動塾などの介護予防事業への参加者を増やします。

【一般介護予防事業、高齢者健康づくり事業】 事業費：14,370千円

- ・地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携しながら、住民組織による介護予防教室を増やします。

【介護予防・生活支援サービス事業】 事業費：4,418千円

◆ みんなで食べよう楽しい食事（食育の推進）

- ・朝食・夕食を家族と一緒に食べる「共食率」を向上させるため、各地区で親子料理教室を開催して共食の周知を図ります。

【市民の健康づくり事業】 事業費：4,140千円

- ・20歳から30歳代の男性の朝食欠食率が高いことから、企業の健康教室、消防団の健康教室を行い、欠食率の改善を図ります。

【市民の健康づくり事業】 事業費：4,140千円

◆ 歩こう動こう プラステン（+10分）

- ・今より1日10分、身体活動（生活における全ての動き）を増やすため、各地区での健康教室でプラステンの実践を広げます。

【市民の健康づくり事業】 事業費：556千円

- ・家庭訪問や特定健診等を通じて、週1回以上運動をする市民の割合を増やします。

【市民の健康づくり事業】 事業費：556千円

◆ 歯と口の健康づくり

- ・歯と口の健康づくりが生活習慣病予防につながる大事な要素であるという知識と実践力を身につける必要があるため、乳幼児保健や健康診査等を通じて、歯科保健に取り組みます。

【乳幼児保健事業】 事業費：10,938千円

- ・高齢者の肺炎リスクを減少させるため、歯科衛生士により、いきいき教室の参加者に正しい歯磨き、口の体操等の口腔ケアの指導を行います。

【高齢者健康づくり事業】 事業費：948千円

基本目標7

共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる

【基本目標総額：324,601千円】

<戦略（考え方）>

- 地域福祉活動の実践者である住民や地域活動組織が、多様な主体との協働で培ってきた活動実績（資産）をベースに、様々な制度や社会福祉事業者、民間事業者などと一緒に「共助」を実践できるよう支援します。
- 地域活動組織などの育成にあたっては、「身近な成功事例の積み重ね」が共有できる視点を大切にしていきます。
- 住み慣れた地域での生活が続けられるよう、地域福祉活動と地域包括ケアシステムとの連携を進めます。

<進捗状況確認指標>

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|------------------|---------------|-----------------|
| 創出される地域福祉活動のモデル数 | 一件 (平成 年度) | 40件 (平成32年度) |

<戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組>

◆ 多様な主体による日常生活における支援

- ・住民支え合いマップを活用した日常生活における支援を推進します。

【地域福祉推進事業】 事業費：3,530千円

- ・集積所までのごみ運搬が困難な世帯に対する支援の拡充を図るほか、多様な主体による福祉有償運送の全市的な展開を支援します。

【地域福祉推進事業】 事業費：4,328千円

- ・地域住民、社会福祉事業者や民間事業者等による社会全体による見守りネットワークの構築を進めます。

【地域福祉推進事業】 事業費：一千円

- ・地域の支え合いを実践する住民と専門職（介護・医療・福祉等の専門機関やスタッフ）が連携できる機能を整え、高齢者が自宅で安心して暮らせる仕組みをつくりまします。

【包括的支援事業】 事業費：120,861千円

- ・地域の福祉課題を把握・共有し、協議する中から、課題解決のための具体策を事業化する事業体の立上げを支援します。

【協議体設置運営事業、生活支援サービス創出コーディネート事業】 事業費：2,000千円

- ・上村地区及び南信濃地区における在宅医療・在宅介護サービスを確保するための支援を行います。

【在宅介護サービス確保対策事業】 事業費：200千円

◆ 認知症の人とその家族を支援する連携機能の充実

- ・認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センターなど認知症の専門機関の連携を進め、認知症の人と家族を支援します。

【認知症施策総合推進事業】 事業費：5,348千円

- ・認知症の人と家族を温かく見守り、家族の不安や悩みに応えるため、認知症サポーターを養成します。また、認知症介護者のつどいを開催するほか、地域包括支援センターで介護者からの相談に対応します。

【認知症サポーター養成事業、家族介護支援事業、包括的支援事業】 事業費：125,934千円

- ・認知症の人の権利擁護を進めるため、成年後見制度の講演会、研修会等を開催し制度の普及啓発を行います。

【成年後見支援センター運営事業】 事業費：18,000千円

◆ 地域とともに創る障がい児・者との共生社会の実現

- ・障がいを理由とした差別や虐待を防止するため、障がい児・者に対する正しい理解を深め、権利擁護を推進する障がい者理解啓発事業を展開します。

【障害福祉推進事業】 事業費：170千円

- ・障がい児・者が住み慣れた地域で安心して暮らしているように、様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みの構築に取り組みます。

【障害福祉推進事業】 事業費：一千万円

基本目標8

新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる

【基本目標総額：246,671千円】

<戦略（考え方）>

- 少子化、高齢化、人口減少が進む中で、すべての地域住民が主体的に活動し、いつまでも地域の暮らしと自治を運営していけるように、「新時代の地域経営」の仕組みを構築します。
- 地域が内発的に発展することを目的に、地域課題を解決する実行部隊の立ち上げ、運営の支援を行うとともに、多様な主体が連携した仕組みづくりを進めます。

<進捗状況確認指標>

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|------------------------|--------------|-----------------|
| 「田舎へ還ろう戦略事業」の実施 地区数 | - (平成 年度) | 20件 (平成32年度) |
| 地域課題対応事業体設立数 | - (平成 年度) | 1件 (平成32年度) |

<戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組>

◆ ふるさとパワーアップ！20地区の個性を輝かせる

- ・各地区が「田舎へ還ろう戦略事業」に取り組むための課題を整理、研究し、人材支援など必要な支援に取り組みます。また、実行のため、ふるさと納税を原資とした交付金を交付し支援します。

【20地区田舎へ還ろう戦略支援事業】 事業費：8,530千円

- ・各地区まちづくり委員会等と協働して、空き家の活用を促進します。

【総合的な空き家対策事業】 事業費：7,678千円

◆ 地域自治を守り育むための仕組みづくり

- ・市から地域への委託事業等に関する実態を検証し、問題点を洗い出すとともに、各地区実施事業の検証を行い、見直しに向けた取組を進めます。また、地域自治組織の制度について、実態の検証を行います。

【地域自治組織運営事業】 事業費：一千円

- ・組合未加入者の調査を行い、未加入者アンケートを実施します。また、組合加入促進コーディネーター活動に取り組みます。

【地域自治組織助成事業】 事業費：1,200千円

◆ 中山間地域をもっと元気にしてみまいか

- ・中山間7地区共通の課題を1点抽出し、抽出した課題の解決に向けた取組を1年の重点事業として実施します。

【20地区田舎へ還ろう戦略支援事業】 事業費：431千円

- ・地域おこし協力隊を、遠山地区及び千代地区に加え、三穂地区に導入します。また、中山間地域における課題解決に向けた取組を推進するため、受け入れ体制の整った地区から導入していきます。

【中山間地域振興事業】 事業費：15,970千円

基本目標9

個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する

【基本目標総額：233,805千円】

<戦略（考え方）>

○市民の誰もが主体的に参画できる「多様性をいかした地域づくり」に向けて、人権と個性を尊重しつつ共に生きる人づくり・環境づくりを進めます。

<進捗状況確認指標>

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|-----------------------|-----------------|-----------------|
| 市民活動・地域活動に参加している市民の割合 | 60% (平成27年度) | 70% (平成32年度) |

<戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組>

◆ 誰もが安心して地域で活躍できる、ひと・まちづくり

- ・さらなる男女共同参画社会の推進策を検討し、社会の事業主や従業員向けの効果的なワークライフバランス研修を実施します。

【人権・男女共同参画推進事業】 事業費：2,096千円

- ・消費生活センターの充実と持続的運営を図り、消費者教育プログラムを構築して、市民が自ら学び合う学習機会を創出します。

【消費生活センター事業】 事業費：8,328千円

- ・関係機関との連携による啓発・注意喚起を行い、特殊詐欺被害撲滅に取り組みます。

【消費生活センター事業】 事業費：一千円

◆ 市民活動団体のパワーアップ

- ・市民活動団体の継続性の強化、新たなニーズを踏まえた市民活動団体の立ち上げや交流が進む支援策を研究します。

【市民協働推進事業】 事業費：1,800千円

◆ 共生のためのユニバーサルデザイン

- ・区や組合単位の集会所のバリアフリーの実態を把握し、地域のニーズに応じた支援策を研究します。

【集会施設整備補助事業】 事業費：一千円

◆ 多様性を地域に活かす言語バリアフリー

- ・外国人住民等の多言語相談窓口を運営するとともに、防災・避難情報や医療・介護情報を理解できるように、自動音声翻訳アプリの普及促進や医療通訳派遣制度の研究・構築を進めます。

【多文化共生社会推進事業】 事業費：3,476千円

- ・外国人児童生徒等が、地元で進学・就職する機会を増やすため、定住外国人の子供の学習支援、就学促進や進学ガイダンスを実施します。

【多文化共生社会推進事業、小学校教育振興事業、中学校教育振興事業】 事業費：1,291千円

- ・多文化共生を考えるつどい、国際交流の夕べなどの多文化共生・国際交流を推進する市民活動を支援します。

【多文化共生社会推進事業】 事業費：626千円

基本目標10

豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる

【基本目標総額：74,187千円】

<戦略（考え方）>

- 様々な環境教育や環境学習を展開するとともに、適切な環境情報を提供することで、より高い市民意識を醸成し、環境美化活動、自然環境保全活動、低炭素な暮らし、低炭素な企業活動を推進します。
- 地域環境権を活用した再生可能エネルギーによる持続可能な地域づくりを全市に拡大することで、地域全体として低炭素な社会を構築します。

<進捗状況確認指標>

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|-----------------------|--------------------|------------------------|
| 温室効果ガス削減量 | 0t-co2 (平成28年度) | 3,218t-co2 (平成32年度) |
| 自然とふれあいを持ったことがある市民の割合 | 53.8% (平成27年度) | 60% (平成32年度) |

<戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組>

◆ 環境意識を醸成する人づくり地域づくり

- ・環境学習プログラムを把握し整理しコーディネートして、保育園、小中学校、公民館等へ提供します。

【環境教育推進事業】 事業費：2,141千円

- ・環境啓発メール「いいだ環境通信」を配信して、意識啓発を行います。

【環境教育推進事業】 事業費：2,141千円

- ・エコカフェなどの取り組みによりエコライフを推進します。

【エコライフ啓発普及事業】 事業費：3,320千円

◆ 再生可能エネルギーで進める持続可能な地域づくり

- ・地域環境権による小中学校等での再生可能エネルギー事業を実施できるよう支援します。

【環境モデル都市行動計画進行管理事業】 事業費：923千円

- ・小沢川小水力発電事業の実現に向けて、「飯田市再生可能エネルギー推進基金」を活用するなど引き続き支援します。

【新エネルギー推進リーディング事業】 事業費：3,248千円

- ・市民が温室効果ガスの削減に寄与する太陽光発電設備及び蓄電池を設置するための支援をします。

【おひさまのエネルギー利用推進事業】 事業費：20,000千円

◆ リニア時代を見据えた低炭素な地域づくり

- ・リニア駅周辺における低炭素化を推進するための調査・研究を行います。

【新エネルギー推進リーディング事業】 事業費：5,562千円

- ・市内建築士と連携して、当地域の気候風土にあった省エネ建築方針（新築・改修）の検討を進めます。

【省エネルギー推進事業】 事業費：251千円

- ・渋谷区との交流事業を拡充し、温室効果ガス排出権取引を目指した研究を開始します。

【もりのエネルギー利用推進事業】 事業費：200千円

◆ 地域ぐるみで取り組むエコ活動・エコライフの推進

- ・地域ぐるみ環境ISO研究会と協働して、南信州いいむす21規格改訂に向けた研究に着手します。また、家庭部門の省エネの実態把握と推進方法を研究します。

【ISO14001推進事業】 事業費：一千円

- ・南信州いいむす21を活用した環境改善活動を市内の高校や短大に働きかけます。

【ISO14001推進事業】 事業費：一千円

◆ ユネスコエコパークから広がる森と動植物の保全

- ・南アルプスユネスコエコパーク・ジオパークの魅力語るガイドの養成に取り組みます。

【自然環境保全推進事業】 事業費：1,197千円

- ・南アルプスユネスコエコパークにおける登山道誘導標識の設置に向けて取り組みます。

【自然環境保全推進事業】 事業費：688千円

- ・希少動植物の保全に取り組む団体等を把握し、連携のための連絡会を開催して、生息区域などの情報を共有します。

【自然環境保全推進事業】 事業費：一千円

- ・市民や企業との関わりが進展する森づくりを推進するため、継続的な普及啓発活動が出来る仕組みを検討します。

【森づくり市民活動支援事業】 事業費：894千円

◆ リニア時代を見据えた生活環境保全

- ・リニア中央新幹線等の大型工事に伴う環境影響に対しては、必要に応じて適切な対応を事業者に求めていきます。

【環境汚染対策事業】 事業費：13,461千円

基本目標11

災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める

【基本目標総額：1,817,243千円】

<戦略（考え方）>

- 自助、共助を支援する環境の整備に取り組み、安全安心に暮らせるまちを目指し、市民が備える防災力の向上、地域で取り組む防災・減災のまちづくり、情報伝達・収集機能の充実に取り組みます。

<進捗状況確認指標>

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|--------------------------|---------------------|---------------------|
| 防災訓練に参加する市民の人数 | 38,000人 (平成27年度) | 55,000人 (平成32年度) |
| 長寿命化計画で緊急輸送路関連橋梁の修繕工事完了数 | 7橋 (平成27年度) | 55橋 (平成31年度) |

<戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組>

◆ 命と生活を守る市民防災力の向上

- ・災害時に取るべき行動の実践力向上を図るため、各地区へ防災担当職員を派遣するとともに、ハザードマップの更新を予定している4地区(下久堅、龍江、竜丘、川路)において「わが家の避難計画づくり」のための説明会を開催します。

【防災対策推進事業】 事業費：8,485千円

- ・災害弱者の屋内における被害を防ぐため、要支援者宅の家具転倒防止に関する実態調査を行います。

【防災対策推進事業】 事業費：一千円

◆ みんなが安心して暮らせる防災・減災のまちづくり

- ・災害発生時に避難所の開設や運営が確実にできる体制を構築するため、市内全地区において避難所開設訓練を実施します。

【防災対策推進事業】 事業費：一千円

- ・消防団の消防力維持のため、第11次消防力整備計画で定めた消防団の定数1,345名の確保を目指します。

【非常備消防事業】 事業費：3,093千円

- ・年々増加する高齢者の交通人身事故件数の半減に向けて取り組みます。

【交通安全事業】 事業費：1,375千円

◆ 緊急・災害時の情報伝達や収集機能の向上

- ・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の住民に土砂災害警戒情報をはじめ災害から命を守る行動の情報伝達を迅速かつ確実に伝えるため、訓練時における連絡網の再整備など情報伝達機能の強化を図ります。

【防災対策推進事業】 事業費：一千万円

- ・災害時に避難情報や被害状況を迅速、確実に伝えるため、防災行政無線の更新を含む整備計画を策定します。

【防災対策推進事業】 事業費：25,000千円

◆ 災害時にも都市機能が維持できる社会基盤の戦略的強靱化

- ・緊急輸送路（橋梁含む）や避難路となる市道等、生活を支える社会基盤の長寿命化、安全対策に取り組みます。

【防災・安全対策事業、公園整備事業】 事業費：722,540千円

- ・近年増加している集中豪雨による越水被害に対応するため、排水路などの整備に取り組みます。

【防災・安全対策事業】 事業費：10,000千円

- ・妙琴浄水場の第1期更新整備により耐震化を進めます。

【浄水施設更新整備事業】 事業費：687,000千円

基本目標12

リニア時代を支える都市基盤を整備する

【基本目標総額：1,268,919千円】

＜戦略（考え方）＞

- リニア中央新幹線の整備効果を地域振興にいかすため、その基盤となるリニア駅周辺、座光寺スマートインターチェンジの整備を市民合意形成や協議のプロセスを重要視し、生活環境や自然環境への配慮を踏まえ着実に進めます。
- リニア時代を見据えた地域公共交通と情報基盤の整備を進めます。

＜進捗状況確認指標＞

| 指標名 | 基準値 | 目標値 |
|---------------------|---------------|-----------------|
| リニア駅周辺整備事業の基本設計完了 | — | 平成30年度 |
| 市民バス・乗合タクシーの利用者数増加率 | — (平成28年度) | 20% (平成32年度) |

＜戦略計画 [平成29(2017)年度] に基づき実施する主な取組＞

- ◆ 「信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口」としてのリニア駅周辺の整備
 - ・長野県の南の玄関口として「信州、伊那谷らしさ」を感じられ、地域の住みやすさにも配慮した駅となるようリニア駅周辺整備基本設計を進めます。
【リニア駅周辺整備事業】 事業費：73,583千円
- ◆ 駅勢圏（駅の利用が見込まれる地域）拡大に向けた道路ネットワークの強化
 - ・リニア駅へのアクセス改良に向けて松尾地区周辺の調査を進めます。
【道路ネットワーク整備事業】 事業費：3,000千円
 - ・リニア整備効果が広域的に波及できるよう、座光寺スマートインターチェンジ、リニア関連道路、三遠南信自動車道を基幹とする良好な道路ネットワークの構築を進めます。
【リニア関連道路整備事業】 事業費：171,109千円

◆ **リニア時代を見据えた土地利用計画の策定**

- ・リニア駅周辺、中心拠点である中心市街地をはじめ、各拠点機能が相互に連携しながら、「当地域に息づく文化・歴史・自然」と「高度な都市空間」との対流を促進する「田園型の学術研究都市づくり」を進め、知の創発拠点を結ぶナレッジリンクの一翼を担えるまちづくりを推進することとし、リニア駅周辺の居住者、地域コミュニティに配慮し、良好な居住環境を確保します。

【土地利用計画推進事業、都市計画推進事業】 事業費：11,391千円

◆ **リニア事業に関連する社会基盤の整備**

- ・移転対象者に対する代替地の確保に取り組み、安心して移転が出来るよう市として責任ある対応を行います。

【リニア推進事業】 事業費：60,480千円

◆ **リニアの二次交通の構築及び持続可能な地域公共交通の実現**

- ・リニア利用者の利便性を高め、より広域的にリニア駅利用が可能となる二次交通の整備を検討します。

【交通体系整備事業】 事業費：一千円

◆ **リニア時代を見据えたICTの活用とその基盤の整備**

- ・交流人口の拡大、産業振興に向けた情報化戦略を策定し、効果的な取組を進めます。

【シティプロモーション推進事業】 事業費：548千円

5 平成29年度当初予算編成における改革改善の取組

平成29年度当初予算編成では、歳入確保や歳出削減により各部局の一般財源額の1%相当額を生み出すことを目標として、予算編成を通じ改革改善の取組を検討し、取組可能なものについて予算化しました。また、生み出した一般財源の範囲内において創意工夫による改革提案にも取組み、内容を精査し予算化しました。

(1) 当初予算に予算化した主な改革改善の取組

(単位:千円)

| 項目 | 予算化した主な内容 | 効果額 |
|------------------|---|---------|
| 1 市税等収納率の維持 | ○平成27年度決算における市税等の収納率の水準維持 | — |
| 2 ふるさと飯田応援寄附金の確保 | ○返礼品の充実及び利便性向上によるふるさと納税の確保 | 50,000 |
| 3 民営化・民間委託等の推進 | ○保育園等の民営化、公共施設指定管理者制度の推進 ・鼎東保育園、鼎幼稚園の統合民営化による経費削減 | 12,305 |
| 4 公共施設保有量の最適化 | ○公共施設マネジメント基本方針に基づく保有量の最適化 ・桐林勤労者福祉センター廃止、北方寮休止による経費削減 | 16,263 |
| 5 その他の取組 | ○庁内における事務等のやり方改善等 ・庁内主要マネジメントシステムの見直し など | 22,164 |
| 合 計 | | 100,732 |

※効果額は、一般財源の前年度対比額です。

(2) 創意工夫による1%提案の主な取組

(単位:千円)

| 予算化した主な内容 | 予算額 |
|---|--------|
| 1 地域住民による自主的な道路環境維持のための落葉清掃機の購入及び貸出 | 642 |
| 2 長野県工業技術センターとの連携による『デザインラボ』の設置調査研究 | 600 |
| 3 地元高校生との連携による若年層への政治や選挙に対する意識啓発活動 | 264 |
| 4 市民の暮らしと安全を守る事業(ゲリラ豪雨に対する雨水排水対策、落石崩落危険箇所点検等) | 14,677 |
| 5 婚姻(出生)届提出時の記念品の贈呈(平成28年度補正予算対応) | 500 |

(3) 進行管理と成果の公表

上記の取組について年間を通じて進行管理をし、「平成29年度決算の概要」の中で成果を公表します。

※ 財政運営目標の設定

新たな財政運営目標(基金残高及び地方債残高)の設定は、平成28年度に策定した「行財政改革大綱」に位置づく実行計画において設定、公表します。

(4) その他(参考)

① 市役所新庁舎建設による光熱水費の節減

新庁舎は、床面積が旧庁舎の1.6倍となったことに加え、エレベーター、トイレ等の設備機器も充実しましたが、建物の省エネ構造や熱源にガスを用いるなどの工夫により、次のとおり光熱水費の節減が見込まれています。

・電気料金

| | | |
|----------------------|--------------|----------|
| 旧庁舎時代の平成23～25年度3年間平均 | 1,218,000kWh | 23,100千円 |
| 平成28年度決算見込 | 1,080,000kWh | 19,900千円 |

・上下水道料金

| | | |
|----------------------|----------------------|---------|
| 旧庁舎時代の平成23～25年度3年間平均 | 11,873m ³ | 2,960千円 |
| 平成28年度決算見込 | 5,700m ³ | 1,600千円 |

② 稲葉クリーンセンター稼働に伴う負担金の縮減(現時点における推計)

稲葉クリーンセンターは、ストーカ式焼却炉の導入によりごみを乾燥・自然させるため、化石燃料の使用量を大幅に削減することができるため、次のとおり運営費が大幅に縮減される見通しです。

・桐林クリーンセンター運営費(公債費分含む)

| | | | |
|---------------------|--------------|----------|-------------|
| 平成15～29年度までの15年間の見込 | 11,287,000千円 | (うち飯田市分) | 7,790,000千円 |
|---------------------|--------------|----------|-------------|

・稲葉クリーンセンター運営費(公債費分含む)

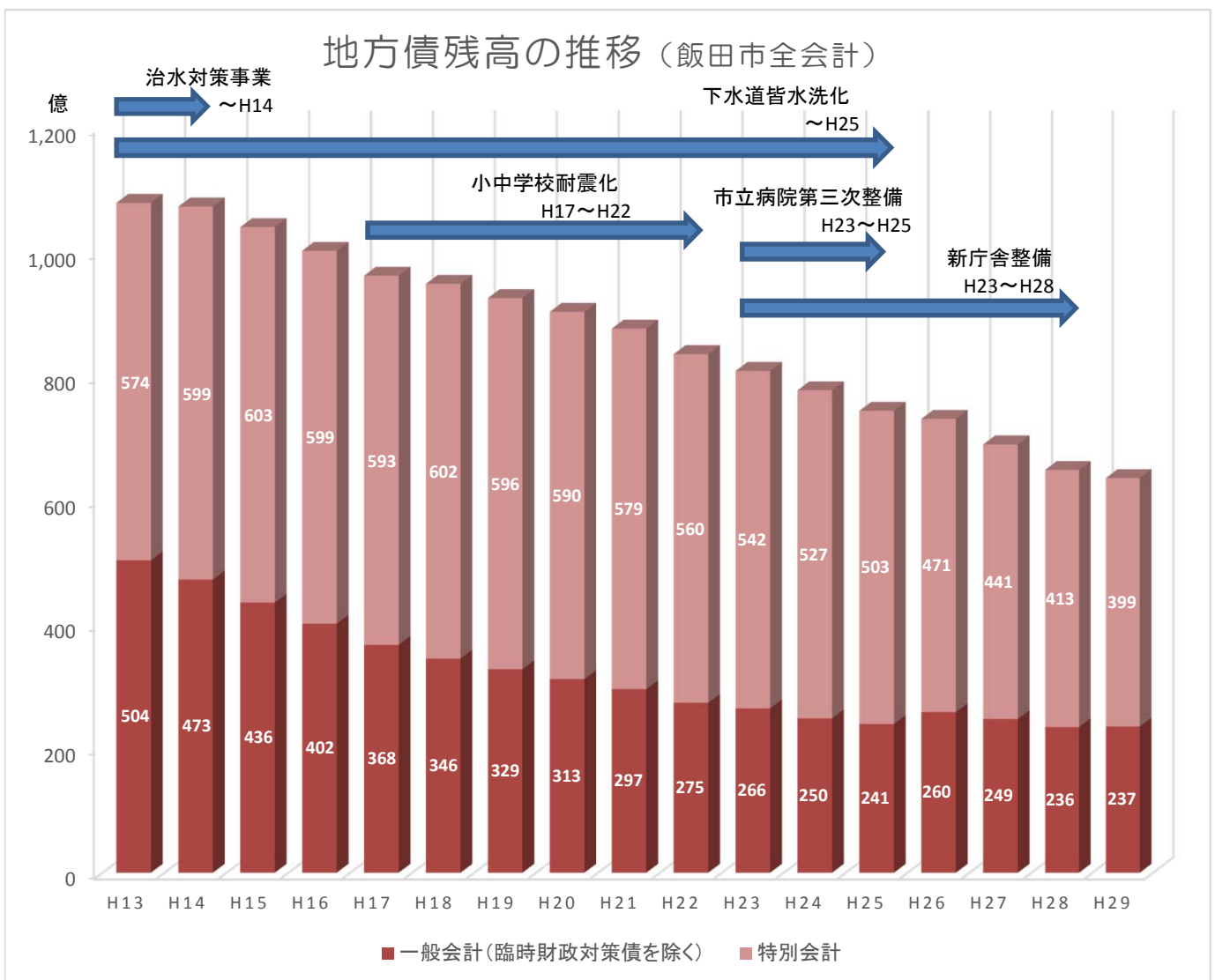
| | | | |
|---------------------|-------------|----------|-------------|
| 平成29～43年度までの15年間の見込 | 8,199,000千円 | (うち飯田市分) | 5,543,000千円 |
|---------------------|-------------|----------|-------------|

6 地方債残高の推移

(単位:百万円)

| 区 分 | H24決算 | H25決算 | H26決算 | H27決算 | H28見込 | H29当初 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1 一般会計 | 40,329 | 41,003 | 44,183 | 44,138 | 43,300 | 43,907 |
| (1) 臨時財政対策債 | 15,385 | 16,938 | 18,219 | 19,227 | 19,714 | 20,208 |
| (2) (1)を除く一般会計債 | 24,943 | 24,064 | 25,964 | 24,911 | 23,586 | 23,700 |
| 2 特別会計等 | 52,741 | 50,314 | 47,106 | 44,069 | 41,269 | 39,855 |
| (1) 簡易水道事業 | 654 | 603 | 566 | 523 | 495 | - |
| (2) ケーブルテレビ放送事業 | 207 | 165 | 122 | 78 | 34 | 12 |
| (3) 病院事業 | 9,387 | 9,076 | 8,059 | 7,248 | 6,475 | 6,424 |
| (4) 水道事業 | 8,672 | 8,252 | 7,793 | 7,353 | 7,117 | 7,979 |
| (5) 下水道事業 | 33,820 | 32,217 | 30,566 | 28,867 | 27,147 | 25,440 |
| 飯田市合計 | 93,070 | 91,316 | 91,289 | 88,208 | 84,569 | 83,762 |
| 臨時財政対策債を除く計 | 77,684 | 74,378 | 73,069 | 68,981 | 64,855 | 63,554 |
| 臨時財政対策債を除く対前年度比 | △ 3,164 | △ 3,306 | △ 1,309 | △ 4,088 | △ 4,126 | △ 1,301 |

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。



7 基金残高の推移

(単位:百万円)

| 区 分 | H24決算 | H25決算 | H26決算 | H27決算 | H28見込 | H29当初 |
|---------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1 主要4基金 | 5,984 | 5,746 | 5,540 | 5,882 | 5,059 | 4,353 |
| (1) 財政調整基金 | 2,315 | 2,116 | 1,918 | 2,269 | 1,769 | 1,369 |
| (2) 減債基金 | 1,455 | 1,457 | 1,459 | 1,462 | 1,141 | 841 |
| (3) 公共施設等整備基金 | 1,108 | 1,108 | 1,111 | 1,113 | 1,115 | 1,115 |
| (4) ふるさと基金 | 1,106 | 1,064 | 1,052 | 1,039 | 1,035 | 1,029 |
| 主要4基金対前年度比 | 408 | △ 238 | △ 206 | 342 | △ 823 | △ 706 |
| 2 その他特定目的基金 | 5,589 | 6,082 | 6,173 | 6,603 | 6,623 | 6,632 |
| (1) 庁舎建設基金 | 2,447 | 2,344 | 2,035 | 1,923 | 1,869 | 1,851 |
| (2) 地域振興基金 | 1,400 | 1,700 | 2,000 | 2,228 | 2,228 | 2,228 |
| (3) リニア中央新幹線 飯田駅整備推進基金 | 901 | 1,203 | 1,306 | 1,609 | 1,713 | 1,813 |
| (4) その他 | 841 | 835 | 832 | 843 | 813 | 740 |
| 3 定額基金 | 1,492 | 1,532 | 1,532 | 1,532 | 1,582 | 1,582 |
| 基金合計 | 13,066 | 13,360 | 13,245 | 14,017 | 13,264 | 12,567 |
| 対前年度比 | 1,026 | 294 | △ 115 | 772 | △ 753 | △ 697 |

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

